

平成 23 年度 習志野市史編さん委員会会議録（要点）

日 時 平成 24 年 1 月 20 日（金） 午後 2 時～午後 3 時
場 所 教育委員会 1 階大会議室
出席委員 相澤 莊重委員長、井上美穂子委員、小倉 博委員、
渡邊 岩夫委員、鶴岡 智委員、宇田川栄一委員
出席職員 生涯学習部長 藤田 勉、生涯学習部次長 早瀬登美雄
生涯学習部副技監 及川 隆志、社会教育課長 星 昌幸、
生涯学習部主幹 猪股 昭喜、社会教育課文化財係長 白鳥 章、
副主査 松浦 史浩、主事補 金谷千亜紀
傍 聴 者 1 名

会議次第

1. 職員紹介
2. 部長挨拶
3. 委員長挨拶
4. 会議録署名人選出
委員名簿の順に従い、小倉委員と渡邊委員が会議録署名人として選出された。
5. 報告事項
 - (1) 市史刊行物の販売状況
 - ・『習志野市史』等市史刊行物の販売状況について報告。
 - (2) 市史調査
 - ア 市史関係資料の収集・調査
 - a 文献資料の収集・調査
 - ・習志野市の歴史に関する文献資料の収集について報告。
 - b 写真資料の収集・調査
 - ・習志野市の歴史に関する写真資料の収集について報告。
 - c 『広報習志野』「新ならしの散策」掲載に関わる調査
 - ・『広報習志野』に掲載している「新ならしの散策」に伴う調査について報告。
 - (3) 市史関係資料の保存と活用
 - ア 史資料の整理・保存
 - a 史資料の整理・保存
 - ・市史編さん室保管の文書・写真類の整理を継続的に行っていることを報告。
 - b 歴史公文書等の保存について

- ・歴史的に重要な公文書等の保存・管理に対する取り組みについて報告。

イ 史資料の活用

- a 『広報習志野』「新ならしの散策」(前述)
- b 第7回千葉県北西部地区文化財発表会・巡回展
 - ・平成23年12月から平成24年3月まで、「ムラから村へ—掘りおこす土地の歴史—」というテーマで開催されている千葉県北西部地区文化財発表会・巡回展について報告。
 - ・習志野市は「縄文時代前期のムラ—習志野市実籾3丁目遺跡(11)—」と題した展示を行っている。
- c 所蔵資料の利用依頼に対する許可
 - ・習志野市で所蔵している資料の利用依頼に対する許可について報告。

ウ その他普及活動

- ・歴史に関する各種講座への講師派遣等について報告。

(4) その他

ア 文化財関係の報告

- a 旧鴫田家住宅について
 - ・東日本大震災の被害状況と復旧に向けた作業について報告。
- b 谷津貝塚埋蔵文化財発掘調査について
 - ・『谷津貝塚埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅰ』の刊行、『谷津貝塚埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ』及び『谷津貝塚埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅲ』の作成作業について報告。

【質疑・意見】

- 委員 市史編さん室において収集・保管している写真資料は寄贈していただいたものなのか。また、購入することもあるのか。資料購入費はあるのか。
- 事務局 寄贈していただいたものもあるし、購入することもある。市史調査事業費の中で購入可能な写真資料については購入している。
- 委員長 新庁舎建設にあたり、現在歴史資料を保管している市史編さん室等はどうのような影響を受けるのか。
- 事務局 現市庁舎の一時移転に際しては、市史編さん室も移転する予定になっている。移転先の施設では空調が集中管理となるため、担当者が直接温湿度の設定を管理できなくなるという問題を抱えている。現在、庁舎移転の担当課と協議しているところである。

○委員長 習志野市は市史編さんの時に多くの貴重な資料を収集した。資料はデリケートなものであるから、従来以上に温湿度管理等の環境を整えた場所で保管できるようにしていただきたい。習志野市史編さん委員の総意として、今後も歴史資料が散逸・劣化してしまうことなどないように、資料の保存について配慮していただきたい。

○委員 廃棄文書はどのように処分するのか。

○事務局 「習志野市文書管理規程」及び「習志野市教育委員会文書管理規程」に基づき、廃棄文書目録を作成した上で焼却処理により廃棄している。

(以上)